

KURE KOSEN

 National Institute of Technology, Kure College

呉高専だより



地下壕探検隊マップを製作しました(旧呉鎮守府司令部地下壕)

※関連記事 6頁

呉高専と保護者をつなぐ情報誌



● 呉高専日誌

教育・研究

- 4月.....1
- ・社会人基礎能力向上研修Ⅰ・Ⅱ
 - ・IW 課題発見☆夢創造チーム「ウシオチヨコラトル」(尾道)訪問
 - ・IW「石段の家プロジェクト」呉みなと祭に参加しました
- 5月.....1
- ・第1回スカイブ交流授業で自己紹介
 - ・機械工学科1年生技術者入門 ペーパーブリッジコンテスト
 - ・2017NEW環境展に出展
- 6月.....2
- ・広島県内建設業界説明会を開催しました
 - ・2年生を対象に「人権学習」を開催いたしました!
 - ・電気情報工学科1年生 技術者入門にてロボットボウリング大会を開催しました!
 - ・SAPAR 就職準備セミナーI
 - ・IW「石段の家プロジェクト」床はがし
 - ・2017年度 第1回English Lounge
 - ・呉高専モノづくりフェスタを開催しました
 - ・学校を良くする懇談会が行われました
 - ・「くれまる〜呉の輪を広げ隊〜」が夢プロ採択!
 - ・IW原小学校の4年生との防災マップづくり
 - ・専攻科1年生2017 Thailand-Japan Microwaveで “Best Presentation Award” 受賞
 - ・IWでアメリカからの留学生と交流
 - ・ハンドメイドワークショップをco-baで開催

- 7月.....5
- ・環境系専攻科生のインターンシップ先を訪問しました
 - ・地下壕探検隊マップを製作しました

- 8月.....6
- ・高専PRコンテンツコンテスト(パンフレット部門)奨励賞受賞
 - ・IW「石窯プロジェクト」ナリポとコラボ入船山夏祭り
 - ・IWブラックホールクイズラリー in クルーズ船「銀河」

クラブ活動

- 4月.....7
- ・第64回中国高等学校柔道大会広島県予選(個人戦)
 - ・ソフトテニス部 呉地区高校総体団体戦(男子) 第3位

- 5月.....7
- ・ラグビー部 岡山に強化練習会へ遠征 ハードな試合でしたが課題が浮き彫りに
 - ・ダンス部 呉みなとまつり・フラワーフェスティバルに出演
 - ・ワンダーフォーゲル部 倉橋島 火山(ひやま)登山

- 6月.....8
- ・ソフトボール部 県高校総体出場の報告
 - ・インターアクトクラブ 車いす清掃活動@呉中央コスモス園

- 7月.....8
- ・4種目で全国へ! 中国地区高専体育大会 水泳競技
 - ・卓球部 中国地区高専体育大会参加
 - ・バスケットボール部(男子) 中国地区高専体育大会 結果報告
 - ・バスケットボール部(女子) 中国地区高専体育大会 結果報告
 - ・サッカー部 全国大会出場 12年ぶり 13回目
 - ・バドミントン部 高専大会中国地区大会 結果報告
 - ・剣道部 中国高専大会 結果報告
 - ・硬式野球部(高野連チーム) 第99回全国高等学校野球選手権広島大会一回戦
 - ・テニス部 中国地区高専体育大会 個人戦準優勝・全国大会出場!!

- 8月.....11
- ・全国高等学校 情報処理選手権に参加しました
 - ・第40回西中国地区高専音楽祭 ~吹奏楽の部~
 - ・平成29年度中国地区高専文化連盟写真部合同合宿
 - ・~第26回西日本地区高等専門学校アーチエリー競技会~ 優勝

イベント等

- 4月.....12
- ・平成29年度入学式
 - ・新年度入寮式・新入寮生歓迎夕食会
 - ・呉みなと祭りに出展、多くの方に参加していただきました

- 5月.....12
- ・平成29年度 体育祭

- 6月.....13
- ・平成29年度 呉高専文化行事
 - ・国際交流パーティーを開催しました
 - ・公開講座環境都市シリーズ第1回「ペーパークラフトで学ぶ橋のしくみ」
 - ・平成29年度ブックハンティング
 - ・電子工作キット「びかりん」ができました!
 - ・アメリカから高校生来校
 - ・留学生と交流!「フェアウェルパーティー」

- 7月.....14
- ・公開講座「防災工学~自主防災組織を育てる~」第2回の報告
 - ・平成29年度安全標語受賞者の表彰式を行いました
 - ・【呉市連携講座】今年はシリーズで開講します!海外旅行で役立つ英語シリーズ①
 - ・平成28年度校長表彰状授与式
 - ・第1回学校見学会

- 8月.....16
- ・呉地域OCN会議公開講座「模型で学ぶ地震につよい木造住宅」を開催しました
 - ・出前授業 段原小学校 放課後クラブ
 - ・第2回呉高専ミニロボコン開催
 - ・公開講座 環境都市シリーズ第4回 水を換えなくてもいい水槽づくり

● クラブ活動・各種大会報告

- クラブ活動・各種大会報告.....17
- ・第52回全国高等専門学校体育大会剣道競技 個人戦
 - ・全国高専体育大会サッカー部
 - ・ソフトテニス部 全国高専体育大会 結果報告
 - ・第52回全国高専体育大会 水泳競技

平成29年4月11日呉高専日誌より

社会人基礎能力向上研修 I ・ II

専攻科プロジェクトデザイン工学専攻（建築系）1年 澤田 勇志

4月8日（土）・9日（日）に外部講師の先生方による「社会人基礎能力向上研修」というテーマで講義が行われました。

この講義は、専攻科1年生を対象とした「プロジェクトデザイン工学総合ゼミⅠ」という授業の一環として、専攻科棟のアクティブラーニング室Ⅱで終日行うものでした。

社会人基礎能力向上ということでは主に3つのテーマを2人の外部講師の方に教えていただきました。

1日目の午前には、呉信用金庫人事部の調査役をされている板野浩一氏に「社会人の基礎的マナー」について講義やグループワークなどの研修を受けました。そして、1日目の午後には「口

ジカルシンキング」について、また、2日目には「コミュニケーションスキルの向上」について、ジョーンズラングサル株式会社プロジェクト開発マネジメント事業部の溝上裕二氏に、講義やワークショップによる研修を受けました。

私は、この研修を受けて、社会に出るためにはたくさんの方が必要だと改めて感じることができました。

マナーなど当たり前と思っていることもできていない部分やコミュニケーションなどの積極性や語学力などがまだまだ自分に足りないことがあると実感し、改善していこうと思うことができる良い機会になりました。



平成29年4月27日呉高専日誌より

インキュベーションワーク 課題発見☆夢創造チーム「ウシオチヨコラトル」（尾道）訪問

機械工学分野 岩本 英久



びっくり！広島プロジェクトで乃木坂賞を受賞したお礼に、機械工学科4年 中村・雨田・藤本・田中・茅嶋の5名が尾道のチョコレート工場「USHIO チョコラトル」を訪問しました。

代表の中村氏を前に、受賞したファインナ村氏からは「硬い型と柔らかい型には、それぞれ異なる機械と農具の組み合わせが必要と期待しています」などのコメントをいただきました。

今後、ウシオチヨコラトルは広島空港にチョコレート工場を建てる予定と。この出会いをきっかけに、ウシオチヨコラトルの新しいチョコレート型を呉高専の3Dプリンターで制作してみようということになりました。

プランから実行へとステップが上がり、完成までにはまだいくつかの壁がありますが、挑戦し続けていくことで、必ずや成功するチャンスがあります。がんばりましょう！

平成29年4月29日呉高専日誌より

インキュベーションワーク 「石段の家プロジェクト」呉みなと祭に参加しました

機械工学科2年 伊佐 豊



4月29日（土）、呉みなと祭にインキュベーションワーク「石段の家プロジェクト」で参加しました。「石段の家プロジェクト」では、木材を使った加工機を使い、子どもたちも一緒に制作しました。木製の小さな家を完成させたいという思いで行われた活動で、多くの方々に興味を持っていただきました。

もえんくらし楽しいでもらえました。新年の新しいメンバーを歓迎したいです。私も参加します。



平成29年5月8日呉高専日誌より

第1回スカイプ交流授業で自己紹介

人文社会系分野 上杉 裕子

5月8日（月）、4年外国語選択英語の授業において、姉妹提携校であるオーストラリア、ラドフォード・カレッジの学生たちと第1回スカイプ交流授業を行いました。

事前に互いに準備しておいたトピックは、「自己紹介、趣味、専攻」です。

今年度初となるスカイプ交流授業で、学生たちは英語でのコミュニケーションについて、難しさや楽しさを体験したようです。ラドフォードからの留学生、マイケル君も飛び入り参加し、久々に故郷の学生との会話を楽しんでいました。

機械工学科 鹿谷智也

今回ラドフォードの人と話してみて、相手の人がとても日本語が上手だったので話すのに

困ったことはなかったが、日本語中心の会話になったのが残念だった。次回はもっと英語で話してみたいです。

電気情報工学科 山本大河

楽しいが、やはり自分の英語力に問題を感じた。相手が日本語がわかるので、それに頼ってしまった面があった。次は英語に慣れた状態でスカイプしたい。

建築学科 林佳一郎

思ったよりも言葉が伝わるなどと思った。とても良い経験だった。

今年度は計10回、それぞれ多彩なトピックで、ラドフォード・カレッジとのスカイプ交流授業を計画しています。



平成29年5月18日呉高専日誌より

機械工学科1年生技術者入門 ペーパーブリッジコンテスト

機械工学分野 高田 一貴

5月18日(木)の1年生技術者入門で、ペーパーブリッジコンテストを実施しました。

毎年1年生には5月から6月にかけて6回の技術者入門の授業が開かれます。

前半3回は機械工学の素養を習得するきっかけ作りとして、紙とボンドを使って紙のブリッジ(橋)を制作し、ブリッジに重りを掛けてその強度を競うコンテストを行いました。

自由な発想のもとで作るのもよし、ネット情報を参考にしてもよし、というルールで橋を作ってもらいました。

制限条件は材料としてA3用紙1枚と接着用のボンドのみを使用することです。2名1

組でペアチームを作り、全21チームで競いました。コンテストでは先輩である機械工学科5年生に司会、進行を務めてもらいました。その結果、今年の優勝は耐荷重2kgでした。

今後、進級にともない機械工学の専門科目を学んでいきますが、強度を持たせるにはどのような形状にすれば良いかを考えながら、このコンテストで経験したことを振り返ってもらえたらと思います。

このあと後半の第2弾として、エッグドロップコンテストを開催予定です。

ペーパーブリッジで成果が出なかった学生は是非リベンジを果たすことを期待しています。



平成29年5月29日呉高専日誌より

2017NEW環境展に出展

環境都市工学分野 黒川 岳司



東京ビッグサイトにて5月23日(火)から26日(金)の4日間で開催された2017NEW環境展に、国立高等専門学校機構のブースの中のひとつとして出展してきました。

NEW環境展は、同時開催の地球温暖化防止展と合わせて、600社以上の出展があるアジア最大級の環境展で、来場者数は4日間合計で16万人規模だそうです。実際に参加してみても展示会のスケールの大きさに驚かされました。

国立高専機構では、「全国の16高専(=KOSEN)の最新の研究成果を展示」ということで、呉高専からは「地域資源の保全・活用のための小規模貯水池に適した省エネ・低コストな水質浄化装置の開発」というテーマで研究紹介させて頂きました。

ちょうど前期中間試験と重なったため2日間の滞在でしたが、多くの方に研究内容や成果に興味を持って頂き、また、研究の展開に繋がりそうな情報もいくつか得られて、とても有意義な展示会出展となりました。

平成29年6月5日呉高専日誌より

広島県内建設業界説明会を開催しました

環境都市工学分野 森脇 武夫

6月5日(月)の3時限目に環境都市工学科4年生に向けて広島県内建設業界説明会を開催しました。

この説明会は、建設業界の人材確保に向けて広島県と業界団体が連携して実施される学生向けの催しです。

まず、広島県土木建設局建設産業課の坂本様から建設産業の役割について動画を交えて説明があり、その後、測量設計業界について広島県測量設計業界の森脇様から、建設業界について広島県建設青年交流会の野中様から説明していただきました。

その後、若手技術者の代表として、建設業界から信本様(呉高専卒業生)と木原様、公務員として広島県から中吉様(呉高専卒業生)の3名の方に学生から質問をする機会を設けていただきました。

どのような視点で就職先を選択したら良いか、大学や専攻科に進学した方が良いか、高専卒で即戦力になるか、職場で同僚との交流はあるかなど色々な質問があり、わかりやすく答えていただき、インターンシップ先や就職先を選ぶときに大いに参考になる情報が得られました。

ご来校いただきました建設業界の皆様、ありがとうございました。

なお、この説明会についてはBSテレビから取材があり、いつもとは違う雰囲気です学生は少し緊張していました。その模様は当日の夕方のニュースで放映されました。

テロップで高校生となっていたのは少し残念でしたが、学生が熱心に説明を聞いて、立派に感想を述べていたのは良かったと思います。



平成29年6月7日呉高専日誌より

2年生を対象に「人権学習」を開催いたしました！～SNS・いじめを考える？～

学生主事補 神田 佑亮



6月7日(水)の合同LHRで2年生全員を対象に、人権学習を実施いたしました。講師として呉市人権センターから宮岡主任がお越しくださいました。

最近、学生間のコミュニケーションツールとしても活用されているSNSについて、誰にでもありうる危険性、そしてそれらの危険から自分の身を守るための方法等を、資料やDVDを使用してわかりやすいお話をいただきました。

今回の人権学習を通じて学んだこと、感じたことをもとに、他の学生たちとも楽しいコミュニケーションを図りながら、充実した学生生活を送ってほしいと思います。



平成29年6月8日呉高専日誌より

電気情報工学科 1年生技術者入門にてロボットボウリング大会を開催しました！ 電気情報工学分野 井上 浩孝



6月8日(木)、電気情報工学科棟1階の情報処理演習室にて、1年生を対象に、インキュベーションワーク「技術者入門」の時間にロボットボウリング大会を開催しました。
この大会は、まずコースを1周した後、3メートル先にある5本のピンを制限時間の1分30秒以内に何本倒すことができるかを2回実施し、得点の高い方を勝ちとする対戦方式の41名参加のトーナメントです。
学生たちは、技術者入門の時間を利用して、4回にわたりロボットの製作を行いました。

中には、ロボット製作クラブ、ICT科学部の学生を中心に20名近くの学生が、中間試験が終わってから連日放課後下校期限の19時まで残ってロボット製作に励みました。さらに、大会当日は朝6時から始業前まで会場を解放しましたが、最終調整をしに自主的に早朝に来る学生も数名いました。
準々決勝以降は、どのロボットもピンを倒し、白熱した好ゲームの連続で、あつとという間に時は過ぎ、大変盛り上がりました。大会当日までの限られた時間内に創意工夫を凝らした各自のロボット製作、そして大会での対戦を通してエンジニアの卵達が自ら殻を割って孵化してくれました。
今後の成長に期待しています！

平成29年6月8日呉高専日誌より

SAPAR 就職準備セミナーI

キャリア教育推進室 河村 進一

6月7日(水)に本科4年生の就職希望学生を対象として、SAPARプログラム第1回就職準備セミナーを開催しました。
このセミナーは、高専生の就活の現状とインターンシップ(校外実習)の準備などについて意識してもらうために行っています。
内容は、「就職活動のためのスーツ着こなし講座」(洋服の青山呉店 神崎店長)、「専攻科インターンシップの状況」(専攻科 大田特命教授)、「公務員の仕事と呉市インターンシップ」(呉市役所)、「日本貿易振興機構と北九州高専の連携事例」

(JETRO北九州事務所 新居所長)にお話しいただきました。
また、終了後に呉市役所の呉高専OB・OGの皆さんとJETRO北九州と連携している企業の方々に残っていただき希望する学生にインターンシップや就職に関する個別相談も行いました。
5年生と専攻科2年生は6月1日からの就職試験解禁をうけて、続々と就職先が決定しています。
1年後の就職内定にむけて、4年生に就活開始のきっかけとしていただければと思います。



平成29年6月8日呉高専日誌より

インキュベーションワーク「石段の家プロジェクト」床はがし

建築学科5年 西村 隆登



6月8日(木)のインキュベーションワークの時間を使って、石段の家2号館の床はがし作業を行いました。チームメンバーが新しくなってきたので、実質的な改修作業は今回が今年度初です。
2号館の床は昨年度までに何度かの作業で改装して板張りの空間になりましたが、経験不足もあり、床に凹凸ができてしまっていました。
今回はプロの力も借りてこの凹凸を直し、床が下がっている部分の高さを調節するために、いったん床板をはがしました。建築を学ぶ学生にも、他学科の学生にも、床の下がどうなっているのか実際に見て勉強できるいい体験になったと思います。

夏の改修に向けてここからは、床、壁、キッチン、お風呂、トイレなど直すところはたくさんありますがひとつずつ改修していきたいです。



平成29年6月8日呉高専日誌より

2017年度 第1回English Lounge

国際交流部部长 中本 さや香

6月8日(木)、2017年度初めてのEnglish Loungeを行いました。
現在オーストラリア、ラドフォード・カレッジから聴講生として留学しているMichael君に協力してもらい、国際交流部中心に英語のゲームや、お話を英語に触れました。
今回は彼を含め8名程度が集まり、かなり良いスタートダッシュを切ることができました。
English Loungeは、正しい英語を話すレッスン、というよりは英語を使ってコミュニケーション

ションをとったりゲームをしたりして、英語を身近に感じることができるいい機会だと思っています。
毎週木曜日、14:30ごろから、約1時間~1時間半程度で、さまざまな楽しい企画をして、今後も続けていきます。興味のある方はぜひ気軽に立ち寄ってみてください。途中参加・退出もOKです。
また、今月22日は、アメリカからの留学生10名程度にも参加いただき、より楽しく、英語が飛び交うような場を作りたいと思っています。



平成29年6月11日呉高専日誌より

呉高専モノづくりフェスタを開催しました

機械工学科3年 森田 拓馬

平成29年6月11日(日)に本校の図書館棟で「呉高専モノづくりフェスタ」を開催しました。

このイベントはインキュベーションワークの複数のテーマがモノづくりのブースを出し、子供たちにモノづくりのおもしろさを体験してもらい、また興味を持ってもらうことを目的としています。

イベントの開催にあたっては、先生方のサポートも受けながら学生が企画段階から主体的に携わりました。

イベント当日は、雨の予報でしたが天候にも恵まれ、園児・小学生や家族連れなど、約250名という多くの方にご来場いただきました。

子供たちがとても楽しそうにモノづくりやゲームを体験している様子を見ると、このイベントを開催してよかったと思うと同時にまたこのようなイベントを開催したいと思いました。

今回のイベントで得た経験を無駄にはせず、イベントを開催してみてわかった良い点や反省点、改善点を踏まえ、反省点や改善点は減らし、良い点を増やしそして伸ばしていき、今後イベントを開催する時や各インキュベーションワークでの活動などに生かしていきたいです。



平成29年6月12日呉高専日誌より

学校を良くする懇談会が行われました

学生会広報委員長 角谷 萌



6月12日(月)の16:30より、学校を良くする懇談会が行われました。

会議には校長先生をはじめとする学校の幹部の先生方、学生会長、副会長、書記、各委員長(任意で副委員長)が出席しました。

学校を良くする懇談会は今回で4回目となり、過去にこの会議で話し合われた意見の中で建設的であったものは実際に取り入れられており、これまでも何件もの事案が適応・改善されています。

今回も学生から募集した意見を学生会が建設的な意見であるかどうかという観点から厳選し、建設的であると判断された意見については全て話し合われました。

今までの意見の回答につきましては、学校のホームページに掲載してはいたのですが、今からはホームページに載せるとともに、各クラスに1部ずつ資料を配布する方針になりました。

この資料には先生の回答とともに、学生会で厳選する際に「建設的でない」と判断された意見とそのような結論に至った理由を合わせて掲載する予定です。

今回話し合われた先生方の回答は、一度先生方に確認していただき、後日、メールボックスに入れて配布します。

平成29年6月14日呉高専日誌より

「くれまる～呉の輪を広げ隊～」が夢プロ採択!

電気情報工学科5年 竹河内 みちる

地域にもものづくり空間をつくって、たくさん子どもたちや若い世代が活動できる場を増やすために活動を始めています。

私たちは呉地域OCN会議「学生の夢実現プロジェクト」への応募をきっかけに3つのインキュベーショングループが集まりました。そして活動目的の共通点や特徴をどう出していくか、実際の活動は何をするかなどを真剣に話し合っており、「くれまる」というチームをつくりました。

今回のプロジェクトの応募では、来年度に活動を大きくすることも視野に入れて、次の活動内容を提案しました。

「子どもたち、若い世代の保護者を対象にたくさんの人たちに来ていただける大き

なイベントの開催」と「地域の活性化を目指した空き店舗などを活用したものづくり空間の実現」です。

応募した審査会では、3グループが合同で開催したイベントなどの実績が認められ、様々な激励の言葉をいただきました。これからは大きなイベントを開く時に、より多くの方に来て頂けるように呉市など関係する方々と協力して活動し、広報もしっかりしていこうと考えています。

また来年度以降も活動を継続できるようなチームになりたいと考えていますので、これからどうぞよろしくお願い致します。

平成29年6月16日呉高専日誌より

インキュベーションワーク 原小学校の4年生との防災マップづくり

環境都市工学分野 森脇 武夫



6月15日(木)と16日(金)に「防災グッズの開発と製作」グループは、原小学校の4年生と一緒に防災マップづくりを行いました。

まず、15日に原小学校区を4つに分け、それぞれのグループを学生が引率し、がけ崩れが起こりそうな箇所や避難するときに溝や崖下に落下しそうな危険箇所を見つけて、地図に色分けしたシールを貼ると共に写真を撮って歩きました。

16日には、教室で大きな地図に前日に調べた危険箇所や避難場所を記入していきま

学生は児童にどのように表示するとわかり易いかを考えさせながら、一緒に作業をしました。

この日にマップは完成しませんでした。7月13日にはそれぞれのグループの発表会を行う予定です。

学生たちは、地域の小学校へ行って防災マップを作るという協働作業を行うことで、地域貢献が果たせることを実感していました。今後も協働作業を続けて行く予定です。

平成29年6月16日呉高専日誌より

専攻科1年生2017 Thailand-Japan Microwaveで “Best Presentation Award” 受賞

先端電磁波システム研究室



当研究室の迫川智貴君がタイ日本マイクロ波国際会議(TJMW2017)最終セッション、「アワードセレモニー」において、名誉ある最優秀発表賞を受賞しました。
Best Presentation Awardは本国際会議における若手研究者50名の論文の内、厳正な審査を通して「最優秀」と評価された4名に贈られるもので、日本からは東京工業大学の大学院生と迫川君の2名が選ばれました。
迫川君や卒研究生の青木君(現ANA)らは、「インキュベーションワーク」と呼ばれる課題発見・解決型創造演習授業の中から生まれた発想を学術研究に発展させ、商業店舗に設置された防犯ゲートの誤動作をアナ

ログ・デジタル信号処理により解決しました。
青天(せいてん)の霹靂(へきれき)に迫川君は受賞後も身震いが止まらなかったようですが、今回の受賞も、研究室学生全員の向学心向上の弾みになったことは、言うまでもありません。



平成29年6月22日呉高専日誌より

インキュベーションワークでアメリカからの留学生と交流

人文社会系分野 上杉 裕子、大森 誠、平山 規義

6月22日(木)、インキュベーションワーク「英語スピーチ・プレゼンを磨いて国際学会へ行こう！」にて、アメリカ、アイオワ州、Pleasant Valley高校からの留学生たちが、ワークの学生たちと日米のゲームを出し合って交流しました。
人間版ビンゴゲームでウォーミングアップした後、日本人学生からのゲームとして、輪になって手をつなぎ、早くほどけるかどうかを競い合う「知恵の輪ゲーム」をしました。

アメリカ人学生からのゲームとしては、「2つ本物、1つ嘘」というゲームをしました。3つの文を作り、そのうち、1つ嘘が混じっており、それを聞く人が推理して当てるというゲームです。
学生たちはゲームを通じて、アメリカからの留学生と楽しく交流することができたようです。



平成29年6月24日呉高専日誌より

ハンドメイドワークショップをco-baで開催

建築学科2年 田中 佐和



親子にハンドメイドの楽しさを伝えるために活動している「ハンドメイドプロジェクト」の活動として親子にサンキョウチャ作りを体験してもらいました。
今回はFirsteの皆様と一緒に開催しました。このFirsteは社会全体で子育てするきっかけを作ろうと、多世代交流のできるイベントを企画している任意団体です。
今回初のコラボ企画ということで開催するまでには課題も多く、短い時間の中で決めるのは大変でした。親子向けのイベントを開催するために、お母さんが安心して楽しむためには子供の遊び場やオムツ替えスペースなど環境整備がこれまで以上に重要であることをFirsteの皆様にご教示いただきました。この点は、私たちだけでは気づけなかったことであり、とてもいい経験になりました。
参加者の方から「親子でなかなか物作りをする時間もないのでとてもいい機会になった」「また何かあれば参加したい」などとお礼の言葉をいただき今回のイベント

を開催して良かったと思えました。
今回の反省点は、私たちの認識不足のため、準備がギリギリになってしまったことです。次のイベントでは、もう少しスムーズにできるようにこれらの反省を活かして、参加者の方々により満足してもらえるようなイベントを開催したいと思えます。

最後になりましたが、一緒になって今回のイベントを開催していただいたFirsteの皆様にご場を借りて御礼申し上げます。



平成29年7月12日呉高専日誌より

環境系専攻科生のインターンシップ先を訪問しました

環境都市工学分野 森脇 武夫

7月12日の卒業研究の時間を利用して、環境都市工学科5年生5名と専攻科2年生1名と一緒に、環境系専攻科1年生の龍尾一海君がインターンシップに行っている大林組の現場を訪問しました。
この現場は、広島市佐伯区湯来町恵下地区に平成32年から30年間にわたって広島市のごみ(一般廃棄物)を受け入れるための埋立地を整備している現場で、龍尾君は今年の5月から大林組の一員として現場監督業務に従事しています。
今回の訪問では、まず現場事務所から龍尾君から現場の概要を説明してもら

い、その後現場に行って工事の様子を見学しました。
現場での説明の際に質問された内容にコンクリートの打設量など具体的な数値をあげて説明し、大林組の担当者の方からお褒めの言葉をもらっていました。
現場には発注者である広島市の担当者もおられ、そのうち2名は呉高専の卒業生で、公共事業の必要性と地元理解の重要性を強調されていました。
今回の見学に際し、現場を案内していただいた広島市と大林組の関係者に厚くお礼申し上げます。



平成29年7月31日呉高専日誌より

地下壕探検隊マップを製作しました

建築学科3年 中村 理子

7月29日(土)、海上自衛隊呉地方総監部で「呉サマーフェスタ2017」が開催されました。その一環として、旧呉鎮守府司令部地下壕が戦後初めて一般公開されました。

一般公開に先立って、呉地方総監部からの依頼を受けて呉高専の学生有志が地下壕の調査を行い、調査結果を「地下壕探検マップ」にまとめました。

イベント当日、私たちは見学に来られた方々に地下壕の解説をしたり、作成した「地下壕探検マップ」を配ったりしました。

配布したマップは、旧地下作戦室の図面や、360°画像が見られるQRコードを掲載し、一般公開されていない部分も見られ

る仕様です。

また、地下壕の写真を映像化して展示したり、ロボホンに案内のアナウンスをさせたりもしました。ピーク時には地下壕前に長蛇の列ができ、最終的には3,000人を超える方が見学に来られました。

一般公開終了後、7月31日(月)には呉地方総監部の池太郎総監にお会いして、調査やマップ製作についてお礼の言葉をいただきました。

私たちは今後も海上自衛隊と協力して地下壕の調査を続けていく予定です。



平成29年8月8日呉高専日誌より

高専PR_コンテンツコンテスト (パンフレット部門) 奨励賞受賞

建築学分野 松野 一成



「高専ガール×魅力×技術」をテーマとした高専女子学生等によるPR_コンテンツコンテスト(パンフレット部門)に、インキュベーションの企画を考案し実行する会(通称:MECA女)」のメンバー6人が応募した作品が、高専の魅力を伝える「高専生活」の「高専女子学生等」に選出され、奨励賞を受賞しました。

7月7日の応募締め切りを過ぎ、7月27日の審査結果が発表されました。応募総数1,000件の中から、全国3位に入賞し、奨励賞を受賞しました。審査員からは「完成度が高く、見事な作品です。今後の活躍を期待しています」というコメントが寄せられました。

次の機会があれば、最優秀賞を受賞できるように頑張りたいと思っています。

平成29年8月27日呉高専日誌より

インキュベーションワーク 「石窯プロジェクト」ナリポとコラボin入船山夏祭り

建築学科3年 西口 愛

8月27日(日)に開催された入船山夏祭りにて、石窯プロジェクトは呉市内のナポリピッツァ専門店「ナリポ」とのコラボ企画を実現しました。

ナリポとの出会いは昨年度両城で開催されたトビキリ夏祭りにさかのぼります。

石段の家2号館に私たちがつくったピザ窯を使ってプロの技でおいしいピザを提供してくださったのがきっかけで、今回のコラボにつながりました。

今回の企画の内容は、お店のイベント限定メニューであるピザフリッタ(ピザ生地の中に具材を入れて揚げたもの)の新メニューを考案するというもので、試行錯誤を重ね、学生考案のキーマカレーを包み揚げにした「キーマカレーフリッタ」が完成しました。

イベント当日に向けて、試作や事前の仕込作業など、プロの手助けを借りながら学生たちが自を行いました。

当日は限定100個としての販売でしたが、たくさんのお客様にお買い求めいただき、予定より50個多く販売したところまで完売しました。笑顔で「美味しい」と食べていただき、企画した甲斐があったと感じました。

後期の活動としては、このピザフリッタの高専祭での販売に向けて話し合いを進めていく予定です。

今後も積極的に提案を行って、より良いコラボメニューを考案できればと思います。



平成29年8月27日呉高専日誌より

インキュベーションワーク ブラックホールクイズラリー in クルーズ船「銀河」

電気情報工学科3年 保本 拓海、天野 功貴



8月27日(日)クルーズ船銀河のイベントにて、インキュベーションワーク「広島島で広めよう 宇宙の魅力！」のブラックホール班は、呉とブラックホールにちなんだクイズラリーを行いました。

船内の様々なところにクイズを全部で7問貼り付け、キーワードを集める形式のクイズでした。やや高難度のクイズを用意していたので、ヒントのポスターも2枚、受付の横に掲示しました。

また、景品には自作したうちわの他、呉市から提供していただいた非売品の入船山記念館グッズなどを準備しました。たくさ

んの親子に参加していただき、先着順の景品が無くなった後は、子供だけでなく大人も楽しそうになっていました。

船内でのイベントだっただけに船酔いした学生もいましたが、参加した親子たちはとても楽しそうにしてくださいましたので、成功させることができましたと思います。

「クイズが難しい」、「クイズのヒントが分かりにくい」などのコメントも頂いたため、それらの改善点も意識して、またこのようなイベントに参加していきたいと思いました。

4-5月

平成29年4月22日 呉高専日誌より

第64回中国高等学校柔道大会広島県予選（個人戦）

柔道部



呉地区予選において、60kg級二位の成績を獲得した西林寛大君(電気情報工学科2年)が標記大会に臨みました。

試合開催場所の広島県総合体育館武道場周辺は、4月22日当日柔道競技の他、空手道、弓道競技が行われ、さらにグリーンアリーナでは、韓国のSHINeeなる人気グループのコンサートも開催されるとあって、老若男女、人・人・人の大混雑でした。

さて当の西林君は1回戦通過ながら、2回戦で惜しくも敗れ、広島県ベスト16の成績に終わりました。この悔しさをバネに、6月の広島県高校総体に向けて、また明日より稽古に専念することになります。



平成29年4月23日 呉高専日誌より

ソフトテニス部 呉地区高校総体団体戦（男子） 第3位

ソフトテニス部顧問 井上 浩孝

4月23日(日)9時より、呉市総合スポーツセンターテニスコートにて開催されました。呉地区高校総体ソフトテニス競技の団体戦に本校ソフトテニス部の男子8名が出場し、3位に入賞しました。

この大会は、広島県高校総体の予選も兼ねており、男子10校、女子8校が参加し、男子7校、女子6校の県大会出場権をかけた大会です。

準決勝の呉港高校との試合は白熱した展開となり、対戦成績1対2で惜敗したものの、県大会の8本シードがかかった3位決定戦では、呉工業高校に対戦成績2対0で勝ちました。

特に、3位決定戦の第1試合では、ファイナルゲームの大接戦となり、相手前衛が足を怪我

したのですが、プレーが中断している間に本校の応援をしていた部員達が冷却スプレーや氷をコート内で動けないでいる相手選手に手渡し、「敵に塩を送る」素晴らしいスポーツマンシップを体現してくれたことに感銘を受けました。最後になりましたが、遠路応援に来ていただきました多くの保護者のみなさまに感謝いたします。

男子	女子
優勝 呉宮原	優勝 清水ヶ丘
2位 呉港	2位 呉宮原
3位 呉高専	3位 市立呉



平成29年5月9日 呉高専日誌より

ラグビー部 岡山に強化練習会で遠征ハードな試合でしたが課題が浮き彫りに

ラグビー部顧問 山脇 正雄



5月連休の2日間、恒例となった岡山での強化練習会に参加しました。

2日間でショートゲーム7試合を行い、チームの現状と課題が認識できました。今年岡山近県から高校8校、高専から7チームが集まりました。

1日目は美作ラグビー・サッカー場で高校を中心に対戦、今年花園に出場した玉島高校にはスピードの違いを見せつけられその対応方法を考えさせられました。

2日目は津山高専に会場を移し、ミニ高専大会となりました。

疲労困憊の中、最後に全国でも強豪の津

山高専と神戸高専との対戦になりましたが、日ごろの練習成果であるタックルが決まり始め、善戦となりました。攻撃の単調さからも改善の兆しを見ることができ、これからの課題を明確にすることができました。

ハードな2日間でしたが、新チームの立ち上がり時期として、部員全員に満足のおく成果があったと感じています。



平成29年5月10日 呉高専日誌より

ダンス部 呉みなとまつり・フラワーフェスティバルに出演

ダンス部 平田 ひかる

4月29日の呉みなとまつりと5月4日のフラワーフェスティバルに出演させていただきました。

呉みなとまつりでは呉市の高校のダンス部とコラボして呉市のPRステージとパレードに参加しました。初めての試みだったのですがみんな楽しんで踊ることができ、非常にいい経験となりました。

どちらのイベントも練習期間が短かったため、本番で成果を発揮できず悔しい思いをした部員もいました。

この悔しさをバネにして、今年の高専祭ダンスパーティに向けて日々の練習を頑張っていこうと思います。



平成29年5月19日呉高専日誌より

ワンダーフォーゲル部 倉橋島 火山（ひやま）登山

ワンダーフォーゲル部 富永 凌太

5月7日に呉市の倉橋島にある火山と 年生や、自分たちもとても気持ちが良い山を登りました。 かったです。

標高は408mとあまり高くない山で また、今回の活動で、しっかりと交 したが、今回は1年生が入って初めて 流を深めることができ今後の活動につ の活動だったので、一緒に交流を深め いても話していたので良かったです。 ながら登山しました。

この日はとても晴れていて絶好の登 山日和だったので、初めて参加する1



平成29年6月3日呉高専日誌より

ソフトボール部 県高校総体出場の報告

ソフトボール部顧問 大森 誠



6月3日(土)、尾道市の御調ソフトボール 球場にて、広島県高等学校総合体育大会が行わ れました。 初戦の相手は4月の春季大会で大敗を喫した 近大東広島でした。初回、ヒットや死球が重 なって4点を失った後、満塁から1塁手の横を めけてライト線を破るランニングホームランを 打たれてしまい、8点を失ってしまいました。 打線はこの日も沈黙してしまい、ヒットや四球 でランナーは出すものの、相手投手の力投や好 守に阻まれ、得点することはできませんでした。 0-13(5回コールド)での敗退となりました が、春季大会より成長した姿を見せてくれま した。 3年生は高体連の大会としては最後の大会に

なりましたが、今後も練習に参加して 後輩の指導にあたってくれることを期待します。 1年生の投手2人は互いに切磋琢磨しながら、 今後も練習に励んでほしいと思います。特にス トレートの球速アップ、ライズ、ドロップなど の変化球習得、スタミナ強化の課題に取り組ん でほしいと思います。ソフトボール部は低学年 の部員不足という高体連大会参加への危機的な 状況が続きますが、今後も大会に出場し続けら れるよう勧誘を行い、工夫して練習を重ねてい きます。 最後になりましたが、お忙しいところ、送迎 応援にお越しいただいた保護者のみなさまに感 謝申し上げます。 今後も呉高専ソフトボール部をよろしく お願いいたします。

平成29年6月4日呉高専日誌より

インターアクトクラブ車いす清掃活動@呉中央コスモス園

インターアクトクラブ 竹島 有紀

6月4日(日)に呉市内にある呉中央コスモ ス園で車椅子清掃を行いました。 呉東ロータリークラブの方々と一緒に、 施設の利用者の方がいつも使われている車 椅子を掃除し、気持ちよく使ってもらえる ようにしました。

今回の参加者は学生18人で今までの中で もとても多く、みんなで協力して清掃を行 いました。新品のものにするような気持ち で一生懸命清掃に励みました。車椅子を掃 除することで、自分も気持ち良くなりました。きれいになると嬉しかったです。利用 者の方に気持ちよく使ってもらえたら嬉 しいです。

インターアクトクラブでは年2回車椅子 の清掃活動を行っています。次回の車椅子 清掃もみんなで協力して利用者の方に喜ん でもらえるように取り組んでいきたいです。



平成29年7月8日呉高専日誌より

4種目で全国へ！ 中国地区高専体育大会 水泳競技

水泳同好会顧問 中迫 正一



7月8日(土)、鳥取県営東山水泳場で 「第53回中国地区高専体育大会(水泳競 技)」が開催され、今年度は10名(男子 6名・女子3名・マネージャー1名)のメン バーで出場しました。 大会に出場した学生は3年生以下の選手 ばかりでしたが、6種目に入賞し4種目で 全国高専体育大会の出場権を獲得するなど、 大健闘でした。 惜しくも入賞できなかった選手もベスト を尽くし、水泳同好会にとって本当にすば らしい大会となりました。 久しぶりに全国大会(8月26日(土) 栃木県立温水プール館)に行ってきます！ 引き続き選手の応援を宜しくお願いします。

おわりに、当日、遠方より駆けつけてい ただいた保護者の皆さまにお礼申し上げます。



平成29年7月9日呉高専日誌より

卓球部 中国地区高専体育大会参加

卓球部 濱井 祐輝



7月7日(金)から9日(日)にかけて、安来市の市民体育館にて中国地区高等専門学校体育大会卓球の部が開催されました。

1日目は練習と監督主将会議、2日目は個人ダブルスと団体戦、3日目は個人戦シングルスが行われました。

団体戦では男子、女子(オープン競技)共に決勝トーナメントに進むことができず、また、個人戦シングルスでも男子は残念ながら勝つことができませんでしたが、女子シングルスでは

森口美晴選手が見事3回戦まで勝ち進みベスト8となりました。

残念ながら全国大会に出場することはできませんでしたが今後とも頑張っていきますので、よろしくお願いします。



平成29年7月9日呉高専日誌より

バスケットボール部(男子) 中国地区高専体育大会 結果報告

バスケットボール部 中村 理子

7月8日(土)と7月9日(日)、米子のどらドラパーク米子市民体育館で中国地区高専体育大会バスケットボール競技(男子)が開催されました。

1日目はリーグ戦で、松江高専には負けましたが、徳山高専と米子高専には勝つことができ、2日目の決勝トーナメントへの出場が決まりました。

2日目の準決勝戦は、宇部高専と対戦しました。これは、全国大会出場をかけた一戦でした。しかし、序盤に相手のペースになってしまいました。一時はこちらのペースに持っていくことが出来たものの、結果

的には前半の失点が響き、あと一步、全国大会には手が届きませんでした。

3位決定戦では、メンバー全員でプレーし、津山高専を破り3位となりました。これが、5年生には最後の試合になり、試合直後は涙を流す人がいましたが、最後はみんな笑っていました。

引率してくださった顧問の先生方や、応援に駆けつけてくださった、多くの保護者や先輩方、本当にありがとうございました。



平成29年7月9日呉高専日誌より

バスケットボール部(女子) 中国地区高専体育大会 結果報告

バスケットボール部 竹河内 みちる



今年の中国地区高専体育大会バスケットボール競技は、7月8日と9日にどらドラパーク米子市民体育館・東山体育館で開催されました。

予選リーグ敗退という結果の残らない大会になってしまいましたが、チームのプレーをすることができました。だけど、相手のほうが上手かった。負けてしまいましたが、バスケの魅力を感じた大会でした。

私にとっての最後の大会だった今回の大会では、負けてしまいましたが、いい試合ができたと思います。去年までは上手い先輩がチームを引っ張ってくれていて、私は何もできませんでした。ですが、今年度は、

練習試合でコーチのいないときでもチームで率先して話し合っただけの反省を何度もしたり、自分たちで目標を毎回立てたりと、勝つための意識が強く持てるようになり、チームで流れを作れるようになりました。

とても頼りになるチームメイトと一緒に頑張ることができたのは、私にとって大きな誇りで、本当に感謝しています。

お世話になった先生方、コーチ、先輩方、いつも応援に駆けつけてくださった方々、本当にありがとうございました。女子バスケットボール部はこれからです。来年はもっと上を目指して頑張りたいと思います。

平成29年7月9日呉高専日誌より

サッカー部 全国大会出場 12年ぶり 13回目

サッカー部顧問 西坂 強

7月8日、9日松江総合運動公園で第33回中国地区高専体育大会があり、その結果を紹介いたします。

初戦は広島商船戦で、前半0:0、後半2:0の2:0で勝利し、2年ぶりの決勝戦へ進みました。この試合は、炎天下で体力的に厳しい条件での戦いでしたが、最後まで練習通りにゲームをコントロールでき、前後半合計のシュート数17本(相手4本)とサイド攻撃が実を結び結果が得られた試合でした。

決勝は大雨の中、昨年初戦で負けた徳山高専戦です。サッカースタイルが同じ組織で戦うチームカラーのため、攻守が頻繁に入れ替わる試合でした。

得点は、前半24分に先制ゴールし1:0でハーフ

タイムへ、後半20分にゴール前混戦で押し込まれ失点、26分に相手GK前のロングパスのパウンドを上手くすり抜けてゴールして追加点。しかし、その直後の27分に相手クロスボールをヘディングで合わされて失点し1:2、合計2:2で延長へ。延長戦はいつものフラインプレーがあり0:0でPK戦となりました。

PKは後攻、相手2人目がゴールポストに、5人目をGKが見事に止め、PK4:3で優勝となりました。

12年ぶり13回目の全国大会に出場選手・ベンチ・応援頂いたOB・OGそして保護者の皆様と全員で喜び合いました。8月23日~27日の駒沢総合運動公園で全国大会があり、チームカラーを出し切って戦ってきます。応援よろしくお願いします。



平成29年7月9日呉高専日誌より

バドミントン部 高専大会中国地区大会 結果報告

バドミントン部顧問 大和 義昭、田中 誠、上杉 裕子、山田 祐二

今年の高専大会中国地区大会バドミントン競技は、7月8日と9日に米子市の米子産業体育館で開かれました。

本校バドミントン部からは男女の選手、マネージャー、応援学生を含めて19名が参加しました。

今年からトーナメント式になった団体戦では、男子が一回戦で前年優勝校の徳山高専に0-3で、女子は松江高専相手にダブルスはとったもののシングルスは二つとられて1-2で負けてしまいました。

個人戦では、女子ダブルスの向井里歩・石塚仁奈ペア（ともに建築4年）が3位に入賞しました！

準決勝では強豪の徳山高専ペアに力負け

してしまいましたが、来年につながる結果であったと思います。

今年も保護者をはじめ多くの方々のおかげで大会に参加することができました。今大会の結果はご期待に十分に応えるえられたものとはいえませんでした。宇部で開かれる来年の大会に向けて、新主将の田村智昭くん（電気情報3年）を中心に練習に励み、来年こそは期待に応えるよう頑張りたいと思います。



平成29年7月9日呉高専日誌より

剣道部 中国地区高専大会 結果報告

剣道部顧問 國安 美子



7月8日、9日に鳥取県立武道館で第53回中国地区高専大会（剣道競技）が開催され、本校からは12名（男子9名・女子1名・マネージャー2名）が出場しました。

大会初日は団体戦で、リーグ戦を戦いました。結果は、松江高専、津山高専、呉高専の3校が1敗で並ぶ混戦の中、勝者数で松江高専に惜しくも負けて、準優勝でした。

二日目は、男女9名が個人戦に挑みました。5名が準々決勝まで勝ち上がる健闘をするも、あと一步で負けてしまいました。徳廣怜二君（電気情報工学科4年）が4位で全国大会出場権を獲得しました。

最後になりましたが、遠路応援に来てくださった保護者の皆様に御礼申し上げます。

徳廣くんは剣道部の代表として、8月19日、20日に東京理科大学で開催される全国大会で上位を目指して頑張ってください。引き続きご声援をよろしく願いたします。



平成29年7月11日呉高専日誌より

硬式野球部（高野連子一ム）第99回全国高等学校野球選手権広島大会一回戦

硬式野球部（高野連子一ム）顧問 木村 善一郎

第99回全国高等学校野球選手権広島大会一回戦（対明玉台高校）が、7月9日（日）14時半から、やまみ三原市民球場にて行なわれました。

試合は4回表に呉高専が1点を先制しましたが、その裏、相手チームに5点を奪われ、4点を追う苦しい展開となりました。その後、6回表には2点を返し2点差まで詰め寄り、最終回まで気迫あふれるプレーを見せましたが、あと一步逆転には至らず最終的に5対3の惜敗となりました。

残念な結果とはなりましたが、しかし選手たちの懸命のプレーは観戦者全員の胸に熱い感動をもたらしてくれたものと思います。

当日は降雨が懸念され、試合終了間際までどうにかもったものの8回裏から豪雨となり、最後は選手・観客とも、雨に濡れながらの試合となりました。

天候不順にも関わらず応援に駆けつけてくださった諸先生方、在校生、吹奏楽部の有志、また保護者や卒業生の方々に、あらためてお礼申し上げます。



平成29年7月18日呉高専日誌より

テニス部 中国地区高専体育大会 個人戦準優勝・全国大会出場！！

テニス部顧問 神田 佑亮



7月8日～9日、松江市総合運動公園で開催された中国地区高専体育大会テニス競技にて、個人戦ダブルスで準優勝、8月下旬に開催される全国大会への出場を果たしました。

同大会には、個人戦ダブルスに4組8名、個人戦シングルスに4名、団体戦（シングルス2戦、ダブルス1戦）に呉高専からエントリーしました。

個人戦ダブルスでは、エントリーした4組全てが1回戦を突破。決勝では小村創史君（環境都市工学科4年）、小村亮世君（環境都市工学科1年）ペアが、インターハイ出場経験のある徳山高専のペアと対決しましたが、惜敗いたしました。序盤は優

勢な試合展開で、今後さらなる成長を感じることのできる試合でした。

団体戦では、初戦は勝利し、準決勝で残念ながら敗退してしまいました。

最後になりましたが、遠路応援に来てくださった保護者の皆様に御礼申し上げます。

個人戦ダブルスで準優勝した小村（創）、小村（亮）ペアは、8月23日より千葉県東金市で開催される全国大会に進みます。さらに勝ち進んで行けるように、チーム一丸となって取り組んでいきたいと思

平成29年8月1日呉高専日誌より

全国高等学校 情報処理選手権に参加しました

ICT科学部顧問 藤井 敏爾



平成29年8月1日の16:00から全国高等学校 情報処理選手権が千葉工業大学、株式会社アイテック、高校生新聞社主催で開催されました。
試験の内容は情報処理技術者試験に関する問題や、スマートフォン・SNSに関する内容や情報漏えい対策の問題などが出題されました。
今年度は呉高専からは12名が「個人部門」に参加し、70分の制限時間内に80問の問題を解答しました。
コンピュータを使った遠隔試験CBT (Computer Based Testing) なので、呉高専の情報処理演習室からの参加になります。情報処理選手権に参加することで情報処理

技術者資格試験に向けた学力向上が期待できます。みんな真剣に取り組みました。



平成29年8月13日呉高専日誌より

第40回西中国地区高専音楽祭 ～吹奏楽の部～

吹奏楽部顧問 宇根 俊範

西中国地区高専音楽祭が呉市文化ホールで開催されました(参加高専は徳山高専、大島商船高専、呉高専)。
この音楽祭も回を重ねて今年度で40回を迎えることとなりました。

今年は呉高専が主管校であったため音楽祭に向けての準備や進行などで部員たちは大忙しでしたが、呉高専の単独演奏では「恋」「まつり」「糸」等4曲演奏し会場から大きな拍手をいただきました。
演奏会の第2部では参加高専全員での合同演奏を行い、70名の大迫力の演奏には聴衆の皆さんから多くの拍手をいただきました。それと同時に演奏者も納得の演奏がで

き感動しました。
なお、演奏会にはインキュベーションワーク「合唱曲を歌おう」のメンバーも出演し、見事なハーモニーを披露しました。

当日の来場者の方々のアンケートの一部を紹介します。

- 呉高専の「まつり」は力強くとてもよかった。
- 呉高専の演奏がなつかしい曲から楽しい曲までいろいろ楽しんでよかったです。
- 合同演奏の「シンク シンク シンク」最高!
- 呉高専「世代を超えた合唱団」の合唱は大変素晴らしい。



平成29年8月19日呉高専日誌より

平成29年度中国地区高専文化連盟写真部合同合宿

写真同好会 荒谷 太一



8月17日から8月19日までの3日間、山口県、福岡県の下関・門司地区で宇部、大島商船、広島商船、松江、呉の5校の高専の写真部、写真同好会が合同で写真撮影合宿を行いました。

本校の写真同好会からは7人の学生が参加し、下関市の長府地区(城下町)や北九州市の門司港レトロ地区などを撮影しました。

最終日の品評会では学生・教員による投票を行いました。
その結果、課題部門「テーマ:水」では本校の建築学科3年佐藤君の「水中の輝き」が第3位に入賞しました。また、自由部門では建築学科3年荒谷君の「喧嘩に包まれて」が第1位に入賞

しました。
来年の合宿は大島商船高専が主管校となり、8月下旬に開催される予定です。来年も今年以上の写真が撮影できるよう頑張りたいと思います。



平成29年8月25日呉高専日誌より

～第26回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会～ 優勝

アーチェリー一部顧問 松野 一成

8月24、25日に奈良高専を主管校として神戸しあわせの村のアーチェリー場で開催された第26回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会で、男子30m・50m競技の部で、見事団体優勝を果たしました。加えて個人でも本校学生が第一位となりました。

王座奪還を目指して臨んだ昨年の大会で優勝できなかった悔しさを忘れず、選手が一丸となって練習に取り組んだ結果、3年ぶりに団体優勝を果たすことができ、優勝カップを手に入れることができました。中央に優勝カップがある記念写真も3年ぶりです。

開会式での優勝カップの返還時に、「今年こそ呉に持ち帰るぞ!」と決意して競技に臨みました。

競技は選手が一列に並び、30m・50m先の的を狙って矢を射、得点を競います。

また女子30m・50m競技の部の個人で第二位、新人戦の意味合いが強い女子30mダブル競技の部でも第二位と女子も健闘しております。しかしながら部員数の不足により、3名以上が必要な団体の部にはここ数年出場できておりません。

アーチェリー一部では女子部員を求めています。救世主の入部をお待ちしております。



平成29年4月2日呉高専日誌より

平成29年度入学式

総務課総務係

4月2日(日)に平成29年度入学式が挙行されました。

本科生171名(うち編入学生2名、留学生2名)、専攻科生20名の新生が、新たに呉高専で学ぶこととなりました。新生代表からは、呉高専に入学した感激を忘れずに、本校学生としての誇りを持って、勉学に励み、人格の高揚に努めたいとの宣誓がありました。

校長式辞では、「何でもいい。しっかり目標を立て、夢中で取り組み、己を磨け」というお言葉をいただきました。(校長式辞はHPのリンク先に全文を掲載しております。)

新生のみなさんの夢の実現に向け、教職員一同、精一杯の支援をお約束いたします。

Realize Your Dream



平成29年4月2日呉高専日誌より

新年度入寮式・新入寮生歓迎夕食会

寮務主事 外村 彰



平成29年度の入寮式が、4月2日の入学式後、午後2時から視聴覚教室において挙行されました。

新たに入寮を許可された各学科の一年生たちは、入学式そのままの緊張の面持ちで、保護者に見守られつつ森野校長、寮務主事、西口学生寮保護者連絡会会長の歓迎の言葉や説明に聞き入っていました。

寮関係教職員や寮生会役員、ライフ

マスターの紹介のあと、一年生の第4寮への荷物搬入に移り、夕刻5時からは入寮式参加者による新入寮生歓迎夕食会がうちとけた雰囲気と設けられたのでした。

新入寮生の皆さん、一日ご苦労様です。これからの寮生活を、ルールは守りながらも楽しい日々を送って、思い出深い高専生活の礎とされることを祈念しています。

平成29年4月29日呉高専日誌より

呉みなと祭りに出展、多くの方に参加していただきました

協働研究センター、インキュベーション・デザイン室

恒例となりました呉みなと祭りへの参加、今年もインキュベーションワーク活動から4つのチームの参加で出展しました。

短時間でできるものづくり体験をテーマに、パッチ、風車、アクセサリーなどのハンドメイド、楽器、ラスク作りなどを企画しました。

初夏を思わせるような快晴で非常に多くの人出がありました。学生サポーターは40人程度が参加、次から次へと訪れる参加者に手厚いサポートができました。

集計してみると累積で約750の方に利用していただきました。



平成29年5月13日呉高専日誌より

平成29年度 体育祭

学生会広報副委員長 進藤 ころろ



5月13日(土)に体育祭が行われました。

体育祭前日の夕方から雨が降り出し、実施ができるかどうか心配していましたが、当日朝のうちに雨が止み、無事体育祭を行うことができました。競技は例年通り学科対抗で行われ、結果は建築学科の優勝となりました。体育祭が約25年ぶりに再開されてから第4回を数える今回の体育祭。H26年度に機械工学科、H27年度に環境都市工学科、H28年度に電気情報工学科が優勝しているため、今年を以て全ての学科が優勝したことになります。

「初めての体育祭の感想」 1年機械工学科 私たちは、この呉高専の体育祭に初めて参加してみて、とても楽しい体育祭だと感じました。体育祭が始まる前は、きついイメージでしたが、い

ざ始めると、先輩方が場の雰囲気を盛り上げてくださり、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。来年度の体育祭は私達も先輩方と雰囲気を盛り上げるように頑張りたいです。

「1年生歓迎リレーについて」 1年電気情報工学科

体育祭で1年生全員が、プログラムNo.3の1年生歓迎リレーに出場しました。各々が最後まで諦めることなく挑み、白熱した争いを見せました。一位は建築学科でしたが、全ての学科が仲間と協力して戦いぬきました。

お元気が悪い中、お越しいただいた保護者の皆様、体育祭を運営する上で、事前の準備はもとより、当日も早朝の準備から夕方の後片付けまで、全面的にサポートをしてくださった先生方、本当にありがとうございました。

6月

平成29年6月6日呉高専日誌より

平成29年度 呉高専文化行事

学生会広報副委員長 進藤 こころ

6月6日、呉高専主催の文化行事が行われました。今回は、「カンテ・レガロ」として、川崎の歌や、オオタの歌など、いろいろな曲を披露しました。また、歌や楽器の演奏、ダンスなど、盛りだくさんの内容で、とても楽しかったです。

第一部は、歌や楽器の演奏など、盛りだくさんの内容で、とても楽しかったです。第二部は、「あまんじゃくとうりこひめ」の劇でした。歌や楽器の演奏、ダンスなど、盛りだくさんの内容で、とても楽しかったです。

ました。本当に時間が過ぎるのがあっという間で、もっと聞いていたかったです。第二部は「あまんじゃくとうりこひめ」の劇でした。歌や楽器の演奏、ダンスなど、盛りだくさんの内容で、とても楽しかったです。



平成29年6月9日呉高専日誌より

国際交流パーティーを開催しました

電気情報工学科3年 中本 さや香



6月9日(金)に、留学生を歓迎するための国際交流パーティーを開きました。国際交流部、国際交流室、留学生で力をあわせ、このイベントに至りました。今回は30名程度の参加者が集まり、大変良い交流会ができたと思います。

私がこのイベントの中で、毎年楽しみにしているのは、新しく来た留学生による自国のプレゼンです。今年は、マレーシアとモンゴル、オーストラリアの参加国のプレゼンを聞くことができました。知らなかったことを知れるので、とても勉強になりました。そして留学生に企画してもらったゲームでは、時間がキツキツになってしま

まうほど皆さん白熱し、楽しい経験になりました。その後国際交流部企画の、どこの国の言葉かを文字を見て答えるチーム戦四択クイズでは、最後三チーム全部が同点になってしまい、延長戦をしました。そこで優勝が決まったグループには、ちょっとしたプレゼントをさせていただき、最後に記念撮影をみんなで撮って終幕となりました。これからも国際交流部では、このような国際交流イベントを開いていきたいと思うので、ぜひ参加してみてください!

平成29年6月11日呉高専日誌より

公開講座環境都市シリーズ第1回 「ペーパークラフトで学ぶ橋のしくみ」

環境都市工学分野 河村 進一

6月11日(日)、公開講座「ペーパークラフトで学ぶ橋のしくみ」を行いました。今年度も、環境都市工学科関連の公開講座は、環境都市シリーズ(全7回)と防災工学シリーズ(全7回)の2本立てで実施しています。オリジナルの音戸大橋ペーパークラフトキットを使って、橋の力学を学ぶ内容としました。参加者は小学生から50歳代まで幅広い年齢層で、橋のしくみやペーパークラフトの楽しみ、橋の力学について学びました。

昨年に引き続き参加していただいた受講者もいましたので、これまでのペーパークラフトキット(桁橋とランガー桁橋)に加えて、第二音戸大橋のニールセンローゼ橋も追加し、工作した3つの橋(桁橋と2種類のアーチ橋)の強さを比べてみました。



平成29年6月18日呉高専日誌より

平成29年度ブックハンティング

学生会文化環境委員長 中井 康貴



6月18日(日)にブックハンティングが行われました。場所はジュンク堂書店(広島駅前店)に1~3年生、4~5年生・専攻科生の二班に分かれ、今年は多くの学生に参加してもらいました。

休日の開催となり学生たちには忙しい中参加していただきましたが、皆さん広い店内のたくさんの図書の中から真剣に選書してくれました。予算は1人1万円程度でしたが、書店には多くの本が並んでいて、本を選ぶのにとても苦戦しました。

ブックハンティングで、学生の皆さんに

選書して頂くことにより、ほかの利用者の皆さんにも図書館を身近に感じてもらえるのではないかと思います。普段買えないような本を選んで買ったので学校の図書館に並べられるのを楽しみにしています。

毎年ブックハンティングを実施しておりますので、興味のある方は来年参加して下さいませ。ぜひ皆さまの参加をお待ちしております!なお、ブックハンティングに必要な経費は後援会から支援していただいております。ありがとうございました。

平成29年6月19日呉高専日誌より

電子工作キット「ぴかりん」ができました!

建築学分野 間瀬 実郎、技術センター 尾上 冴子

学校見学会の体験学習に向けて電子工作キット「ぴかりん」が完成しました。

7月30日の学校見学会で中学生の皆さんに楽しんでもらえるよう、電気情報工学科と建築学科がコラボしてキットを作りました。専攻科1年の中村 優くんが基本構想を考えて、建築学科4年の井野 蒼さんが「ぴかりん」のキャラクターデザインをしました。関連のスペシャルサイトは電気情報工学科4年の金子 平くんが作りました。

本体アクリル板は2色、LEDは3色、それぞれ好きな色を選び、抵抗やスイッチなどを基板にはんだ付けします。

自分だけのぴかりんができれば、LED点灯!そしてぴかりんのQRコードを読み取ってみると・・・どんなサイトが出てくるでしょうか!?

電気情報工学科の体験工作で作製してお持ち帰りください。



平成29年6月20日呉高専日誌より

アメリカから高校生来校

人文社会系分野 上杉 裕子



6月19日(月)から26日(月)まで、アメリカ、アイオワ州、Pleasant Valley高校から学生9名、引率教員1名が来校されました。

留学生たちは本校学生宅にホームステイしながら、本校学生と一緒に授業を受けました。初日は校長や国際交流室長に挨拶した後、国際交流部員1年生がガイドしながらキャンパスツアーを行い、ホストファミリー対面式を行いました。

翌日20日(火)は、フィールドトリップに出かけました。午前中は広中央中学校を訪問し、書道、剣道体験、ダンス、ゲームで

交流しました。中学生はたくさんの準備をして留学生をあたたくもてなしてくれました。留学生たちはみんなとても感激していました。

その後、広島市内へ向かい、お好み村でお好み焼きを食べた後、原爆ドーム、資料館を訪れました。

梅雨時期にもかかわらず雨に遭うこともなく、とても楽しい1日を過ごすことができました。

平成29年6月23日呉高専日誌より

留学生と交流! 「フェアウェルパーティー」

人文社会系分野 上杉 裕子

6月23日(金)の放課後、校内にてアメリカからの留学生を交えてパーティーを開きました。参加自由で30人前後の学生が集まり、3時間という短い間でしたがとても盛り上がりました。

パーティーの始めに、留学生たちが1人1人日本語で自己紹介をしてきて、彼らの学校で撮影した自己紹介動画を観ました。日本語がとても上手でユーモア溢れる動画でした。

その後パーティーが始まり、お寿司やアメリカのお菓子を食べながら留学生と交流しました。彼らの中にはワサビやガリを初めて見る人もいて、味に驚いていました、日本のゲームを600

作以上持っている人もいて話が弾んでいました。日本の文化に興味をもってきてとても嬉しかったです。

片言の日本語と英語での会話でしたが、しっかりとコミュニケーションをとることが出来ました。



平成29年7月8日呉高専日誌より

公開講座 「防災工学～自主防災組織を育てる～」第2回の報告

環境都市工学分野 森脇 武夫



公開講座「防災工学～自主防災組織を育てる～」の第2回の講義を7月8日(土)に呉高専の大講義室で開催しました。今回のテーマは、「豪雨と斜面災害」と「台風と高潮・洪水被害」で、7月5日からの九州北部での豪雨災害が起ころうとしている最中の講義であり、参加者の皆様は非常に熱心に受講されていました。講義では、まず九州北部豪雨での被害状況を簡単に説明した後、このような危険な豪雨があった時にどのように危険度を把握すれば良いかを紹介しました。

その後、斜面災害について平成26年8月の広島土砂災害を例に取り、斜面災害による被害状況と避難を中心とした被害軽減方法について説明しました。最後に、台風と高潮による被害と、大雨による洪水被害について、その対処方法について説明しました。

第3回は8月5日(土)に開催され、「日本の地震と地震被害、火山災害・火災」について学ぶ講義です。南海トラフ地震や芸予地震の発生が予測されていますので、しっかり学んでいただければと思います。

7月

平成29年7月10日呉高専日誌より

平成29年度安全標語受賞者の表彰式を行いました

総務課人事係

平成29年7月10日(月)、平成29年度安全標語受賞者の表彰式を校長室で執り行いました。

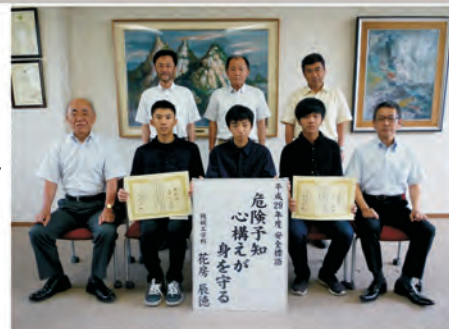
安全標語は、安全衛生に対する意識向上を図ることを目的として、安全衛生委員会が毎年本科4年の学生を対象に募集しているものです。

今年度は、52件の応募があり、安全衛生委員会委員及び後援会役員の投票により選考した結果、得票1位～3位の学生を表彰しました。

表彰式では、吉田安全衛生委員会委員長、篠部教務主事、岩本教授、藤野後援会長の立会いの下、森野校長から得票1位～3位の学生に対して賞状が贈られ、藤野後援会長から副賞が授与されました。

受賞者

- 【1位】危険予知 心構えが 身を守る
(平成29年度 安全標語)
機械工学科 4年生 花房 辰徳さん
- 【2位】大丈夫 そんな保障は どこにもない
機械工学科 4年生 貞縄 孝太郎さん
- 【3位】思い込み 慣れと油断が 事故を呼ぶ
機械工学科 4年生 中川 大雅さん



平成29年7月22日呉高専日誌より

【呉市との連携講座】今年はシリーズで開講します！海外旅行で役立つ英語シリーズ①

人文社会系分野 上杉 裕子



7月22日(土)10時～12時、生涯学習センターにて、呉市との連携講座として、公開講座「海外旅行で役立つ英語～これだけは知っておきたい～シリーズ①出入国・ホテル編」を開催しました。

昨年度、好評を頂いたこの講座ですが、今年度はシリーズで開講してほしいとのリクエストにお応えして、3回のシリーズとしました。23名の方にお申し込みを頂きました。

シリーズ1回目は「出入国・ホテル編」と題して、機内、空港、ホテルの予約時に、役立つ英語表現を取り上げました。

効果音やBGMを盛り込んだパワーポイントスライドをもとに、発音練習、シャドウイング練習に加え、今回は新たに「タスク」として、学ん

だ表現を英語から日本語にして言う、また日本語から英語にして書くという練習もしていただきました。最後に、私自身の経験から得た豆知識も紹介しました。

10代から70代の方まで幅広い年齢層の向学心溢れる参加者と共に、英会話を楽しむ講座を開くことができました。講座後には多くの参加者から、「楽しかった」というお言葉を頂きました。英語が楽しいと感じる方が増え、地域貢献の一環となれば、とても嬉しいです。

第2回目は10月に「シリーズ②観光、食事、買い物編」、第3回目は12月に「シリーズ③病気になる時、トラブル編」を開講する予定です。

平成29年7月25日呉高専日誌より

平成28年度校長表彰状授与式

総務課人事係

平成29年7月25日、本校教員表彰規則で定める校長表彰の表彰状授与式が挙行されました。

この表彰は、教育、研究及び社会貢献活動等において、優れた功績があったと認められる教員を表彰するものであり、7月13日の総務委員会の選考に基づき、決定されました。

本年度の受賞者は、電気情報工学分野 山脇正雄教授(第2条第2号表彰)で、副校長、各主事、事務部長立会いのもと、森野校長から表彰状及び副賞が授与されました。



平成29年7月30日呉高専日誌より

第1回学校見学会

教務主事補 河村 進一



7月30日(日)に毎年恒例の夏の学校見学会を開催しました。朝から30℃を超える猛暑でしたが中学生と保護者合わせて666人の来校がありました。

まず全体説明として、校長から挨拶と呉高専の紹介があり、その後、キャンパスツアーで校内を巡回し、各学科の教育・研究内容などの紹介を行いました。

また、学校生活や入試に関する相談コーナーでは、特別推薦の基準など個別の相談も受けました。多くの参加者の皆さんに学生食堂の体験もしていただきました。

中学生に呉高専はどのように映ったでしょうか。中学や高校とちよつと違う学校ですが、いいところですよ。ぜひ進路選択の一つとして考えていただければと思います。



平成29年8月5日呉高専日誌より

呉地域オープンカレッジネットワーク会議公開講座 「模型で学ぶ地震につよい木造住宅」を開催しました

建築学分野 光井 周平

8月5日(土)に呉地域オープンカレッジネットワーク会議公開講座「模型で学ぶ地震につよい木造住宅」を開催しました。

講座には小学4年生から中学3年生までとその保護者の方、計11名が参加してくださいました。専攻科生1名と建築学科5年生1名も手伝ってくれました。

はじめに昨年の熊本地震による建物被害や呉市でも被害が予想されている南海トラフ巨大地震などについてお話した後に、「紙ぶるる」という木造住宅の揺れについて学べるキットを使って筋かいの効果や地震の揺れと建物の揺れとの関係性などについて紹介しました。

続いて、大型の耐震模型を使って耐力壁の入れ方と揺れ方との関係性について体験してもら

いました。今回は子ども2チームと大人1チームに分けて筋かいの入れ方について考えてもらいましたが、「この方向に揺れるならここに筋かいが必要では?」「この配置だと建物かたむけてしまうのでは?」など真剣に考えてもらっていた様子でした。

大きな地震はいつ身近で起きるか分かりません。今回の講座をきっかけに、木造住宅の耐震性について少しでも興味を持っていただけたらと思います。

なお、本講座は呉地域オープンカレッジネットワーク会議の平成29年度公開講座助成を受けて実施いたしました。関係各位のご支援に感謝いたします。



平成29年8月5日呉高専日誌より

出前授業 段原小学校 放課後クラブ

先端電磁波システム研究室



段原こども会から依頼があり、今年も段原集会所で「ひかりの工作」と題した出前授業を実施して来ました。

今年は小学生1、2年生が対象ということで、むずかしい話は避け、可視光線の話の後に万華鏡の原理を説明、工作では画用紙、アルミテープ、ビー玉で簡単に作成できる手作り万華鏡を作ってもらいました。

受講者数は児童42名、保護者10名、総計52名であったため、指導教員他研究室学生総出で工作の指導にあたり、皆さん満足のいく万華鏡を作成しているようでした。



平成29年8月17日呉高専日誌より

第2回呉高専ミニロボコン開催

機械工学科

歩行ロボットによりスピードを競う第2回呉高専ミニロボコンを7月30日(日)の学校見学会に併せて開催しました。

大会会場は機械工学科棟3FのM3教室です。エントリーした中学生は23名(中学校としては7校)。引率教員・保護者・見学会来校者を含めると大会会場では常時30名以上の賑わいとなりました。

1台ずつのタイム計測方式による激戦の中、優勝は広島市立三入中学校1年の光田春貴君でした。優勝ロボットは市販の4足歩行タイプのロボットを競技用に大改造したものでした。

今回は平面コースに加えてアップダウンのスロープセクションを設けたため、全員が完走することはできませんでしたが、アイデアにあふれる23台の歩行ロボットの登場に会場は大いに盛り上がりました。

次回大会では更に難しいコースを用意しておきます!



平成29年8月19日呉高専日誌より

公開講座 環境都市シリーズ第4回 水を換えなくてもいい水槽づくり

環境都市工学分野 谷川 大輔



8月19日(土)に公開講座「環境都市シリーズ第4回 水を換えなくてもいい水槽づくり」を開催しました。

魚を飼う上で一番の手間は水の交換です。これは、魚のフンに含まれるアンモニアが魚にとって毒であるからです。一方で、アンモニアは硝酸の形まで酸化させると毒性が低くなり、その硝酸は植物の栄養となります。

そこで、アンモニアを酸化させる微生物と植物を組み合わせた「水を換えなくてもいい水槽」を作ってもらいました。

今回使った材料は市販の水槽と水中ポンプ、ペットボトル、プラスチックコップ、スポンジ、ホースと身近で手に入るものを使って作ってもらいました。

水槽の水を水中ポンプで循環させ、最初のペットボトルで微生物がアンモニアを硝酸にまで酸化します。次のペットボトルには植物のポットを入れることで、硝酸を植物が栄養として吸収します。

このシステムには、アクアポニックスという技術の原理を使っています。今回の公開講座では、その技術を一般家庭で使えるように簡略化したものです。今ある技術を必要に応じてアレンジしていく能力も、技術者として必要です。

最後になりましたが、暑期中、本講座にご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。

クラブ活動・各種大会報告

第52回全国高等専門学校体育大会 (平成29年8月18日～8月31日)

(団体) (個人) (個人)

種目	順位	種目・順位	所属・氏名	種目・順位	所属・氏名	所属・氏名
サッカー	初戦敗退	陸上競技		ソフトテニス		
		100m	予選落ち E2 藤川 岳士	女子ダブルス	初戦敗退 A5 野間 萌	C4 山本 桃加
		800m	予選落ち E4 長谷川 甲斐		テニス	
		1500m	予選落ち A1 竹添 慧史	男子ダブルス	初戦敗退 C4 小村 創史	C1 小村 亮世
		5000m	12位 A1 竹添 慧史			
		水泳				
		自由形 50m	予選落ち M3 北村 貴則			
		自由形 200m	予選落ち E3 松本 生弥			
		バタフライ 100m	5位 C1 小田 悠人			
		バタフライ 200m	4位 C1 小田 悠人			
		剣道				
		個人	1回戦敗退 E4 徳広 怜二			

第26回西日本地区高等専門学校 アーチエリー競技会 (平成29年8月24日～8月25日)

(団体) (個人)

種目	順位	種目・順位	所属・氏名
団体(男子)	優勝	男子 30m・50mの部	1位 A3 平田 雄基
		女子 30m・50mの部	2位 C3 金岡 沙映
		女子 30mダブル	2位 A1 藤田 薫

第23回西日本地区高等専門学校 空手道大会 (平成29年7月8日～7月9日)

(団体) (個人)

種目	順位	種目・順位	所属・氏名
団体形	3位	個人形(男子)	2位 A3 平本 駿樹

第65回中国高等学校選手権水泳競技大会 (平成29年7月22日～7月24日)

バタフライ200m 5位 C1 小田 悠人

第99回全国高等学校野球選手権広島大会 (平成29年7月9日)

一回戦 呉高専 3-5 福山明王台高校

第53回中国地区高等専門学校体育大会 (平成29年7月7日～7月9日)

(総合・団体)

種目	順位
陸上競技(男子)	4位
陸上競技(女子)	8位
水泳	5位
バスケットボール(男子)	3位
ソフトテニス(男子)	3位
剣道(男子)	2位
バレーボール(女子)	2位
テニス(男子)	4位
サッカー	優勝(Aバート)

赤字は全国大会出場種目、所属・氏名

(個人)

種目・順位	所属・氏名
陸上競技	
100m 3位	E2 藤川 岳士
400m 5位	M5 小川 黎真
800m 3位	E4 長谷川 甲斐
1500m 3位	E4 長谷川 甲斐
1500m 4位	A1 竹添 慧史*
5000m 3位	A1 竹添 慧史
5000m 7位	M3 確本 弥優
110mH 7位	C1 鳥越 隼斗
4×100mR 6位	C5 吉川 佑
	E2 藤川 岳士
	A4 山本 摩生
	C1 鳥越 隼斗
4×400mR 4位	M5 小川 黎真
	A4 山本 摩生
	E4 長谷川 甲斐
	E2 藤川 岳士
走高跳 7位	A3 花岡 慶汰
走幅跳 6位	A4 山本 摩生
	8位 A3 上原 優輝
三段跳 8位	C3 宇根本 一輝
砲丸投 7位	M5 安井 圭祐
	8位 C3 藤井 裕大
円盤投 4位	M5 安井 圭祐
	6位 C3 藤井 裕大
やり投 7位	E4 塔迫 来
女子800m 7位	A4 古田 花那

(個人)

種目・順位	所属・氏名	所属・氏名
テニス		
男子ダブルス 2位	C4 小村 創史	C1 小村 亮世
ソフトテニス		
女子ダブルス 2位	A5 野間 萌	C4 山本 桃加
剣道		
男子個人戦 4位	E4 徳広 怜二	
女子個人戦 4位	C3 進藤 ころこ	
水泳		
男子自由形 50m 3位	M3 北村 貴則	
男子自由形100m 5位	M3 北村 貴則	
男子自由形100m 7位	E3 松本 生弥	
男子自由形200m 2位	E3 松本 生弥	
男子バタフライ100m 1位	C1 小田 悠人	
男子バタフライ200m 1位	C1 小田 悠人	
男子リレー400m 6位	E3 松本 生弥	M3 上本 拓実
	M3 北村 貴則	C1 小田 悠人
男子メドレーリレー400m4位	M3 北村 貴則	M3 谷口 弘基
	C1 小田 悠人	E3 松本 生弥
女子自由形 100m 8位	A1 石田 冬美	
女子平泳ぎ 100m 5位	A1 岡本 夏海	
バドミントン		
女子ダブルス 4位	A4 石塚 仁奈	A4 向井 里歩

※ 長谷川くんの出場枠を竹添くんへ

平成29年8月19日呉高専日誌より

第52回全国高等専門学校体育大会剣道競技 個人戦

剣道部顧問 外村 彰



8月19日(土)、東京理科大学葛飾キャンパス体育館にて第52回全国高等専門学校体育大会剣道競技の個人戦が開催されました。電気情報工学科4年の徳廣 慎二君が主将の機と、工学科3年の富原 崇司君も練習相手として参加

翌日団体戦を見学して帰途に就きました。学生たちは今回の結果を糧に、今後ますますの精進を期していました。



さきで当日午後からの個人戦は、コーチの正本氏も応援に駆けつけ、1試合のうちに2試合を終了し、初戦の延長は惜敗し、3年生に

平成29年8月23日呉高専日誌より

全国高専体育大会サッカー一部

サッカー一部顧問 西坂 強

8月23日(水)に駒沢オリンピック公園のメインスタジアムで全国高専体育大会サッカー競技初戦が近畿大学高専とありましたので、紹介いたします。

全国大会の初戦で緊張しているかと思いましたが、普段通りの状態で試合へ入れたことはこの1年で大きな成長と思っています。また、新ユニフォームを着ての初戦でもあります。

結果は前半20分までは押し込まれていましたが、慌てず体を寄せて前に自由にさせない堅守が出来ていたように思います。しかし、飲水タイム後の26分に相手の個人技に翻弄されて失点し、その後37分にも失点をして0:2でハーフタイムへ。

後半12分も個人技で中央から決められ、14分にはPKで失点し0:2で試合終了の笛がなり0:4の完敗でした。少ない場面でしたが呉高専カラーも少しでて良い面も攻撃にありました。

高専大会の全国で勝つためには何を継続してすべきかを理解して、来年に向けて明日から取り組んでくれたらと思います。

東京まで応援に来て頂いた保護者の皆様、OB・OGの方、そして関係者に感謝いたします。学生達が高い目標を持って、取り組むことができる体制を今後も支援していこうと思います。また、高体連の選手権大会の県予選初戦が9月2日(土)から始まりますので、引き続き応援宜しくお願い致します。



平成29年8月24日呉高専日誌より

ソフトテニス部 全国高専体育大会 結果報告

ソフトテニス部顧問 井上 浩孝



8月23日(水)の24日(木)の園第2日間は、栃木県で大会が開催されました。ソフトテニス部の大会は、ソフトテニス部が女子個人戦に、男子ダブルスに、ダブルスに出場し、男子ダブルスに勝つことができました。ソフトテニス部の大会は、ソフトテニス部が女子個人戦に、男子ダブルスに、ダブルスに出場し、男子ダブルスに勝つことができました。

また、午後からオープン大会に参加し、ダブルスで2位に入った。ソフトテニス部の大会は、ソフトテニス部が女子個人戦に、男子ダブルスに、ダブルスに出場し、男子ダブルスに勝つことができました。

平成29年8月26日呉高専日誌より

第52回全国高専体育大会 水泳競技

水泳同好会顧問 中迫 正一

8月26日(土)、栃木県立温水プール館において「第52回全国高専体育大会(水泳競技)」が開催され、中国地区高専体育大会(7月8日(土)開催)を突破した3名が4種目に出場しました。

全国から集まった強豪選手を相手に厳しいレースとなりましたが、2種目で決勝レースに進み入賞することができました。

男子 100m バタフライ 5位
男子 200m バタフライ 4位

水泳同好会としては久しぶりに全国大会に参加し、全国のレベルを感じる貴重な経験ができました。この経験を来年以降に繋げて、全国大会でも表彰台に上られるように成長してほしいと思います。

おわりに、当日、栃木まで応援に駆けつけていただいた保護者の皆さまにお礼申し上げます。



Realize your Dream

君の未来を共に創る

呉高専ではホームページで
 体育祭、高専祭、高専体育大会、駅伝大会、ロボコン大会等、
 校内外の行事や授業風景、寮の様子、クラブ活動など日々の学生生活を
 「呉高専日誌」で紹介しています。

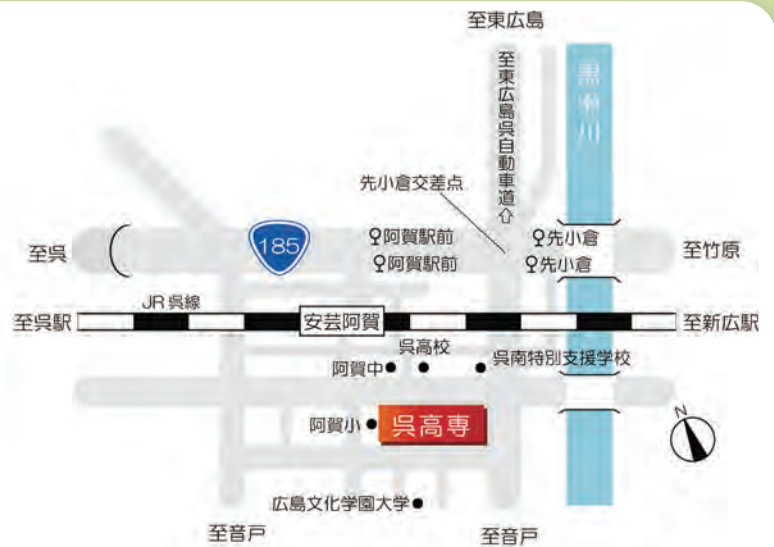


呉高専

検索

呉高専ホームページ

<http://www.kure-nct.ac.jp/>



交通案内

▶▶ 交通機関をご利用の場合

- JR呉線安芸阿賀駅下車 徒歩約7分
- 広島電鉄バス「先小倉」「阿賀駅前」下車、徒歩約10分

▶▶ お車でお越しの場合

- 【広島方面から】広島呉道路(クレアライン)呉ICより20分
- 【東広島方面から】東広島呉道路、先小倉交差点より5分
- 【竹原方面から】国道185号、先小倉交差点より5分

呉高専だより 76号 2017年9月

夏号 9月発行 Web掲載のみ
 冬号 3月発行 配布及びWeb掲載

編集・発行 呉工業高等専門学校 広報室

〒737-8506 呉市阿賀南2丁目2-11

TEL:0823-73-8964 Mail:kouhou@kure-nct.ac.jp